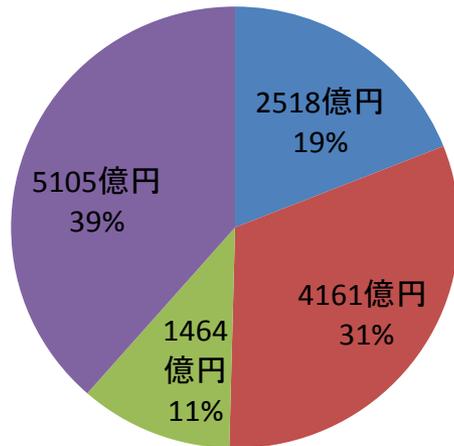


リテール証券会社の収益構造について(速報版)

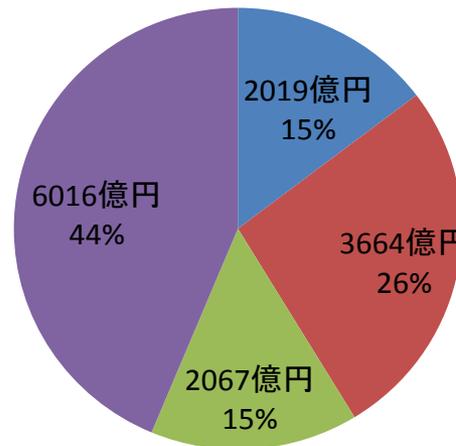
上場している主要なリテール証券20社の純営業収益ベースを集計。野村、大和、みずほに関しては、リテール営業部門の数値、その他は連結若しくは単体の数値を利用

平成22年度、
収益合計1兆3,248億円



※実質的に変わらず

平成23年度、
収益合計1兆3,766億円



- 株式委託手数料
- 投信募集手数料
- 投信残高報酬
- その他(金融収益、トレーディング収益)

平成23年度リテール証券決算のポイント

- ・株式委託手数料は、前年度比約2割減→取引金額減少(▼16%)以上の減少となったのは大口の信用取引手数料競争が激化した影響
- ・投信募集手数料が、前年度比12%減少→野村、日興が外債販売注力した影響
- ※平成23年度投信残高報酬には、三菱UFJモルスタのホールセール部門の数値(推計440~460億円)分が算入
- ※よって、リテール証券の平成23年度はほぼ前年比と変わらず
- ※各社別の詳細は、6月初めに公表予定